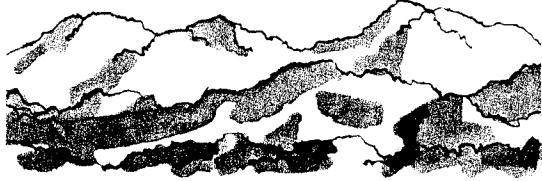


お国自慢



(株)神鋼環境ソリューション

中津川市

雄大な自然に囲まれ 歴史ある宿場町に建つ

……中津川環境センター……

1. はじめに

中津川市は東濃地方と呼ばれる岐阜県の東南に位置します。周囲を木曽山脈、恵那山などの中央アルプスの雄大な自然に囲まれ、市内には木曽川、中津川、落合川、四ツ目川が流れています。

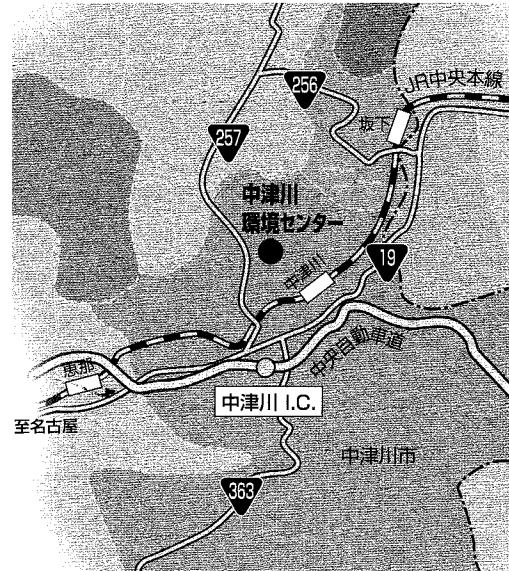
現在の中津川市は平成17年2月に中津川恵北環境施設組合の構成市町村であった中津川市、福岡町、坂下町、付知町、川上村、蛭川村、加子母村、山口村（長野県）が合併した人口約86,000人の新中津川市です。

その歴史は中山道木曽路入り口の宿場町として栄え、さらに歴史を辿ると奈良・平安時代の東山道の神坂峠越えの拠点の宿場町として栄えました。今でも馬籠宿などでは当時の雰囲気が残されており風情があります。

また明治中期から昭和初期にかけては企業主要工場が立地するなど工業の歴史も古く、近年では中津川中核工業団地の完成により、県下有数の工業都市になりました。

中津川のお土産としては栗きんとんなどの和菓子が有名です。

このように豊かな自然と歴史が融合した非常に魅力的な町ですが、名古屋からはJR中央線特



急で約50分と名古屋から1時間以内で行くことが出来ます。

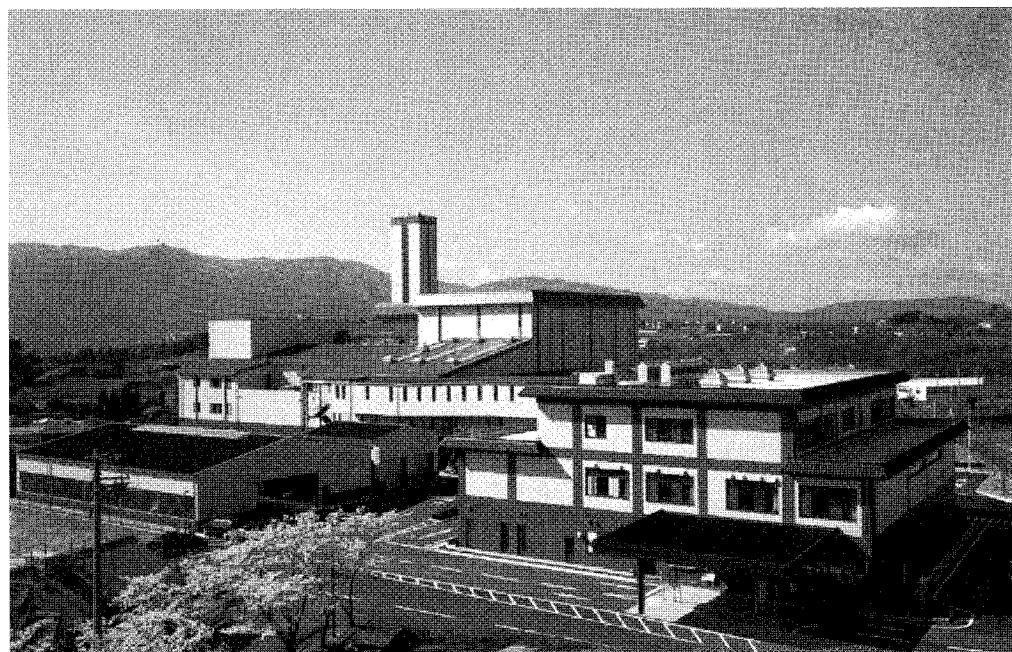
2. 中津川環境センターについて

中津川環境センターは当時の中津川・恵北環境施設組合（現中津川市）の一般廃棄物及び下水汚泥を処理する施設として平成13年8月に着工し、平成16年3月31日に竣工しました。

中津川環境センターは98 t/日の流動床式ガス化溶融炉と17 t/日の粗大処理施設を持ち、環境情報の発信基地として啓発プラザも併設しています。

啓発プラザに設けた浴室は地域住民の皆様に開放し、多数の住民の皆様にご利用いただいております。天気の良い日には浴室の休憩室から恵那山を一望することができます。

センターの外観は緑に囲まれた周辺環境にマッチしたデザインとしています。



3. 中津川環境センターの概要

- (1) 所在地：中津川市駒場 2261 番地 6
- (2) 竣工：平成 16 年 3 月 31 日
- (3) ガス化溶融施設
 - ① 炉形式：流動床式ガス化溶融炉
 - ② 処理能力：98 t/日 (49 t × 2 炉)
 - ③ 発電容量：900 kw
- (4) 粗大不燃施設
 - ① 処理能力：17 t/日
- (5) 啓発プラザ

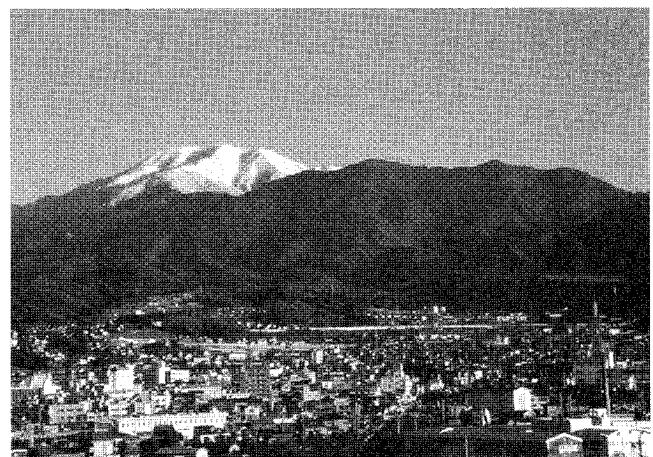
リフォーム室、リサイクル体験室、大小会議室他
- (6) 設計施工：株神鋼環境ソリューション



◇中津川市の観光スポットのご紹介◇

〈恵那山〉

中央アルプス最南端の主峰。標高 2,191m のこの山は、江戸時代から美濃随一の名山として知られ、深田久弥著「日本百名山」にも取り上げられており、登山愛好家に親しまれています。



〈馬籠宿〉

木曽十一宿の最南にあり、かつて宿場として栄えた街並は明治期に火災で消失したが、後に地元の人々の協力により復元された。木曽石と御影石を敷きつめた約600mの坂道に建ち並ぶ格子造りの家並みは、風情があり当時の雰囲気を味わうことが出来ます。また、文豪・島崎藤村の生誕地でもあり、『夜明け前』をはじめとする小説の舞台としても有名です。年間40万人もの観光客が訪れます。



馬籠宿

〈落合の石畝〉

中山道の落合宿と馬籠宿の間は急峻な坂道で、この急な坂道の通行の便を図るために整備せられたのが石畝です。現在では全長840mが復元されていて、その内の一部が岐阜県指定史跡になっています



落合の石畝

〈苗木城跡〉

苗木城は、土岐氏と並んで東濃一帯を制していた遠山家代々の居城でした。この城跡は山城独特の要害の堅固さが特色になっています。現在は石垣を残すのみですが、当時の雰囲気を十分に体感することが出来ます。城跡は、昭和56年に国の史跡に指定されています。



苗木城跡



苗木城の石垣